

国民参加の森づくり活動 ペテガリ岳登山道整備等の活動に関する協定

ペテガリ岳は日本二百名山の一つに数えられ、全国各地から多くの登山者が訪れており、継続的な登山道整備が重要になってきています。そこで、林野庁で設けている「協定締結による国民参加の森づくり」の制度を活用し、当署と静内山岳会が協力することで登山道整備活動が円滑に実施できることから、「ペテガリ岳登山道整備等の協定」を締結することとなりました。

協定締結後、静内山岳会から、「これからの整備活動が円滑に進むとともに山岳会の活動内容の充実につながる。」「遭難救助の迅速な対応を実施できる。」「協定を足がかりにいろいろな活動をしていきたい。」と今後の活動の幅の広がりや意欲的な言葉をいただきました。当署としても本協定を基に権限や許可、あるいは責任の所在が明確となり、整備活動等が充実し、より多くの登山愛好者が安心・安全に利用できる場の提供が可能になったと思っております。

今後は、他地域についても今回のような協定を締結すべく積極的に働きかけ、多様な森林整備や保全活動の要請に対応した国民参加の森づくりに取り組んで行きたいと考えております。



調印式の様子（左：日高南部森林管理署長 右：静内山岳会長）平成25年8月21日